

お口の健康チェック・署名活動・啓発活動を行いました！

「歯と口の健康週間」は歯と口の健康に関する正しい知識を、ご利用になられる患者・ご家族、組合員の皆さんや地域住民の方々に対して普及・啓発活動を行っていくことで、歯の寿命を延ばし健康増進を図っていくことを目的に、全国で取組まれている活動です。



6月5日(水)午前10時～鹿野温泉病院会計待合において、歯科衛生士によるお口の健康チェック(口腔スクリーニング)と歯科医療相談を行いました。「義歯の不具合」の相談や「長期の入院で歯科受診が中断している」といった相談内容もありました。

歯の検定ではシール回答形式でクイズに答えてもらいながら、歯科の現状について学ぶ機会としました。設問5・医療費全体に占める歯科の割合は?では、半数の方がA、30%と回答され(正解はB、7%)医療費に占める歯科の割合について認識を改める一面もありました。



小児～青年期(45才)までのう蝕(虫歯)受診が減少に転じています。公衆衛生的な予防治法による「長年の歯磨き指導・習慣」も一つの要因として考えられます。しかし世帯の所得が減少している中、「歯医者はお金がかかる・通い続けられないといけない」などの経済的理由から受診を控え口腔崩壊を招くケースもあります。歯科医療の保険拡充を求める「保険でより良い歯科医療の請願署名」で制度改善を訴えながら、患者さんの声・地域の声に耳を澄ませながら、無差別平等の寄り添う医療(理念)を実践していきたいと思えます。

第2弾 在宅患者さんへの「訪問お口の健康チェック」